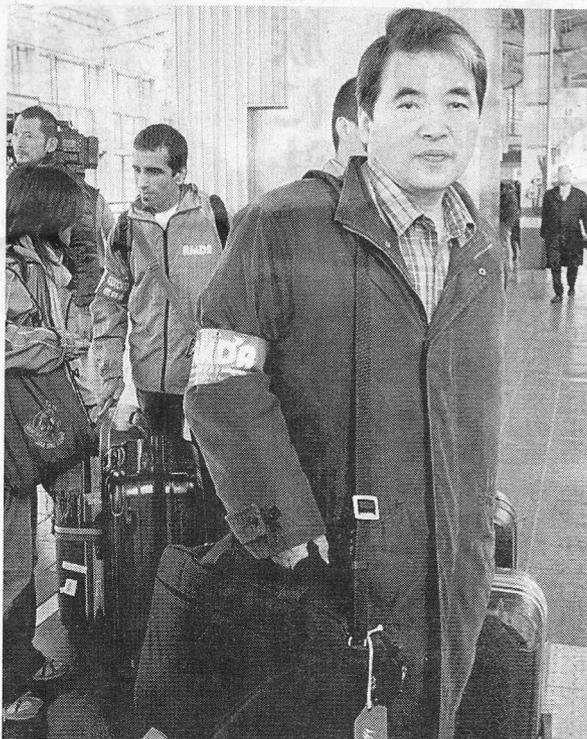


A M D A

医師ら5人ハイチへ

コレラ禍 義肢装具士も

今年1月に大地震があったハイチで感染が広がるコレラ被害に対応するため、国際医療救援団体「AMDA」(本部・北区)は緊急医療救援チームを派遣。菅波茂AMD A代表ら医師、看護師、義肢装具士など4人が1日、現地に向けてJR岡山駅を出発した。8日に医師1人を追加派遣し、計5人で緊急医療活動に支援にあたる。



ハイチに向け出発する菅波代表＝JR岡山駅で

共和国で医薬品などを調達し、陸路でハイチ入りする。今回のコレラ禍の緊急救援活動は今年20日までを予定している。

ハイチでは10月中旬からコレラ感染が急速に拡大し、1月の大地震で緊急救援を行ったハイチ中部サンマルク市でコレラ患者を治療する。菅波代表は「医師や看護師の数が決定的に不足しており、感染拡大に歯止めがかかっていない。治療と予防活動に取り組みたい」

と話している。AMD Aは1月の大地震発生以降、緊急医療支援のほか、手足を切断せざるを得なかつ

た被災者が多くいたことから、義肢装具士でAMD A職員の八尾直毅さんが現地に駐在して義肢支援に取り組ん

でいる。今年8月には日本、ドミニカ、ハイチの子供たちによる親善サッカー大会も開いた。

【石戸諭】